



濟生とは

いのち

生を守り

すく

濟うこと

SAISEIKAI

KUMAMOTO

HOSPITAL

Recruit Book

THINK NEXT

当院は、地域に求められる病院であり続けるために
常に先を見据え、医療の未来を切り開く
日本のリーディングホスピタルを目指しています。



[理念]

医療を通じて 地域社会に貢献します

～質の高い医療を濟生のところとともに～

[基本方針]

1. 救急医療

専門医療チームが24時間迅速に対応します

2. 高度医療

低侵襲治療・がん治療を推進し、
医学の進歩をいち早く地域に届けます

3. 予防医療

質の高い予防医療を提供し、
地域の健康づくりを支えます

4. 地域連携

医療・保健・福祉の連携を推進し、
持続可能な地域社会を実現します

5. 人材育成

確かな技術と共感のこころを持った医療人、
社会人を育てます

[病院概要]

【許可病床数】 400床(うち個室165床)

救命救急センター:42床/集中治療室(ICU):18床/ハイケアユニット(HCU):12床/急性期一般入院料1算定病床:328床

【職員数】 2,117名(非常勤除く)

医師213名/看護師798名/薬剤師48名/診療放射線技師59名/臨床検査技師95名/臨床工学技士50名/理学療法士24名/言語聴覚士7名/作業療法士9名/管理栄養士31名/介護福祉士9名/事務スタッフ(MSW、クラーク、労務スタッフ含)452名/救急救命士4名/歯科衛生士1名/その他(看護助手、運動指導士、保育士、臨床心理士、調理師、栄養士など)59名
※職種別人数は委託派遣職員を除く

【関連施設】

社会福祉法人恩賜財団 濟生会みすみ病院
社会福祉法人恩賜財団 濟生会熊本福祉センター

【主な公的認定】

救命救急センター/地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院/がんゲノム医療連携病院
JCI認定病院/厚生労働省指定臨床研修病院
災害拠点病院/熊本DMAT指定病院



Organization Accredited
by Joint Commission International

JCI

Joint Commission International

認定病院

世界水準の 医療の質を 目指して

済生会熊本病院は、高い技術を持つ医師や、最新鋭の医療機器を有しています。しかしそういった「先進的で高度な医療の提供」以上に、「患者さん目線を徹底した、ミスや油断のない安全な医療の提供」こそが、より重要な医療の本質だと考えています。2013年11月には、医療機能の国際評価基準であるJCI(Joint Commission International)を認証(2022年11月更新)。JCIは世界90か国以上に広がり、13領域1,100項目以上にわたる、客観的かつ科学的な厳しい審査であり、病院では国内7番目、西日本では初の認証となりました。JCIの認証取得も、どんなときにも“患者さん目線”を徹底するためのアクションのひとつです。



濟生の心を礎に、 110年の伝統を未来へ広げていく。

“濟生”それは“生命を救う”こと。

「濟生」とは「生命の救済」の意。濟生会の発祥は、明治末期の1911(明治44)年。明治天皇は時の総理大臣・桂太郎を召されて、「恵まれない人々のために施薬救済し、濟生の道を弘めるように」との濟生勅語に添えて、お手元金を下賜されました。これをもとに伏見宮貞愛親王を総裁とし、桂総理が会長となって、同年5月30日恩賜財団濟生会を創立。それ以来、「濟生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の増進および向上に必要な諸事業を行っています。

熊本の地で、濟生の心を広げて85年。

「恩賜財団 濟生会熊本診療所」の開設は、1935(昭和10)年。病院昇格や増床、移転などを経て、1995年に現在の熊本市南区近見に移転。その後、関連施設である濟生会みすみ病院、濟生会熊本福祉センターの開設や、予防医療センター、外来がん治療センター、教育研修センターなどの増設を経て今日に至っています。



熊本にできた最初の診療所



第三次増改築と旧館の撤去



新病院の造成工事がはじまる

- | | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1935年(昭和10年) | 濟生会熊本診療所開設(熊本市本荘町)9床 |
| 1947年(昭和22年) | 濟生会熊本診療所再開(熊本市花畑町) |
| 1951年(昭和26年) | 熊本市千葉城町へ移転(12床) |
| 1958年(昭和33年) | 社会福祉法人恩賜財団濟生会熊本病院移転、病院開設(熊本市段山本町)50床 |
| 1995年(平成7年) | 熊本市近見町に移転、創立60周年式典 |
| 2002年(平成14年) | 濟生会熊本病院 健診センター(現、予防医療センター)開設 |
| 2003年(平成15年) | 濟生会みすみ病院開設(宇城市三角町)140床 |
| 2004年(平成16年) | 濟生会熊本福祉センター開設(熊本市内田町・白藤) |
| 2007年(平成19年) | 外来がん治療センター開設 |
| 2008年(平成20年) | 地域がん診療連携拠点病院 認可、病院機能評価(Ver5.0)認定 |
| 2010年(平成22年) | 救命救急センター指定、院内保育園「はあとランド」開設 |
| 2011年(平成23年) | 電子カルテ導入 |
| 2013年(平成25年) | 手術支援ロボット「ダヴィンチ」導入、ハイブリッド手術室導入、国際認証JCI認定 |
| 2015年(平成27年) | 教育研修センター開設 |
| 2017年(平成29年) | タントクセン病院(シンガポール)との人事交流契約締結、国際認証JCI認定更新 |
| 2018年(平成30年) | ハイブリッド手術室増設(2室へ)、放射線治療機器 リニアック導入・治療開始
European Award for Best Practices 2018受賞 |
| 2019年(令和1年) | ロボット・低侵襲手術センター創設、「ダヴィンチ」増設(2台へ)
健康宣言策定、国際認証JCI認定更新 |
| 2020年(令和2年) | 集学的がん診療センター創設 |
| 2021年(令和3年) | がんゲノム医療連携病院指定 |
| 2022年(令和4年) | 国際認証JCI認定更新 |

EMERGENCY
CARE

1. 救急医療

24時間体制の“断らない救急”で
地域のライフラインに。

当院の最大の特徴は、“断らない救急”。2010年5月に熊本県から「救命救急センター」の要請を受け、重症患者を中心に24時間体制で受け入れています。救急搬送入院数は国内有数の水準にあり、文字通り“地域のライフライン”としての役割を担っています。救急専門医が必ず常駐しているほか、心臓、脳、消化器の専門医が24時間体制で対応。もちろん“数”のみならず“質”にも力を入れており、一刻を争う状態の診断と治療に迅速に対応できるスピードも特徴です。



全国的にも珍しい「救急」と「総合診療」のチーム化。

救急患者はケガや病気が多臓器にわたる場合が多く、迅速な治療と同時に、多角的な視点での初期診断が必要とされます。そこで2010年4月、救急医療のエキスパートである「救急科」と、総合的に治療する「総合診療科」を一体化し、さらに各診療科の専門医でチーム化した「救急総合診療センター」を開設しました。救急患者のために、徹底的に“横のつながり”を強化したもので、リアルタイムに複数の医師が診察する手厚い体制は、全国的にもきわめて珍しい取り組みです。

救急車搬入数

7,935 台/年
(2021年度実績)

当院に搬入された救急車・病院車・防災ヘリ・ドクターヘリ・ドクターカーの年間台数です。

平均在院日数

9.6 日 (2021年度実績)

一人の患者さんが、平均して何日入院していたかを示す指標です。

2. 高度医療

内科・外科の協働体制で専門性の高い医療を。

患者さんの疾患部位や症状に合わせた治療を行うため、「臓器別センター制」を採用しています。これは、一人の患者さんに対して、内科と外科が専門を越えて、最適な治療方法を検討するためです。高い専門技術を持つ医師が多く在籍しているからこそ可能な体制であり、高度な医療の提供が実現できます。

最新鋭の医療設備と高度専門的な医療提供体制を整備。

内視鏡手術に3Dの視覚情報と精密な動きを加えたロボット支援手術機器「ダヴィンチ」、従来のCTより被ばくが少なく短時間で高密度の検査が可能な「320列CT」、正常組織へのダメージが少なくより正確な照射が可能な放射線治療装置「リニアック」、メスの代わりに放射線で脳の病気を治療できる「ガンマナイフ」など、低侵襲治療をはじめとした、高度医療を提供するために不可欠な先端医療機器を積極的に導入しています。また、外科手術と、内科のカテーテル治療のいずれにも対応したハイブリッド手術室も備えています。2018年4月には、2室目のハイブリッド手術室を増設し、西日本では1台目となるハイブリッド透視装置「ARTIS Pheno（ロボットアーム）」を導入しました。患者さんの体への負担が少ない低侵襲治療を推進し、「ロボット・低侵襲手術センター」や「カテーテル・低侵襲血管内治療センター」を立ち上げたほか、増加するがん患者さんに対して手術に限らず、放射線治療や薬物療法、緩和ケアを組み合わせて治療を行う「集学的がん診療センター」を組織し、高度で専門的な医療を提供する体制を整えています。

手術件数

5,462 件／年
(2021年度実績)

手術室で行った手技件数です。当院には12室の手術室があります。
その他、ハイブリッド手術室2室があります。



PREVENTIVE
MEDICINE

COMMUNITY
ALLIANCES

3. 予防医療

“病の種”を事前に取り除く。医療は「治療」から「予防」の時代へ。

これまでの病院は、「治す」ことが役割でした。しかし近年、高齢化やそれに伴う医療費の増大が問題となる中で、医療は「治療」だけでなく「予防」が求められる時代になってきました。済生会熊本病院では、経験豊富なスタッフが最先端の機器や検査法を駆使し「質の高い健康管理」を提供しています。



4. 地域連携

患者さんの病態に適した医療を提供するために「地域医療連携」は欠かせない。

当院では「地域医療連携」を推進しています。近隣には回復期を担うリハビリテーション病院や、かかりつけ医として日常的な診療を行うクリニックなど、それぞれ特徴のある医療機関があります。診断から治療、回復までのすべてをひとつの医療機関で担うのではなく、地域の医療機関それぞれが、役割分担しながら患者さんの治療にあたる体制を構築しています。済生会熊本病院はその中で「急性期」、なかでも緊急・重症な状態にある患者さんに対し、高度で専門的な医療を24時間体制で提供する役割を担っています。

予防医療センター受診者数

34,867名
(2021年度実績)

紹介率

58.6%
(2021年度実績)

| 予防医療センター内で実施された健診の年間受診者数です。

| 地域の医療機関などから紹介された患者さんの割合です。

5. 人材育成

「質の高い医療」は、
そのまま「質の高い人材育成の場」に。

地域に質の高い医療を提供すると同時に、医師や看護師をはじめとした医療スタッフの育成にも力を入れています。「断らない救急」や「高度医療」は、そのまま実践的な“臨床研修”の現場となり、高い技術や専門性を持つ医療専門職の仕事を通じて、日々後進の育成を図っています。



救いたいのは目の前にある命も、未来の命も。

当院には、延べ130名以上の「学会認定指導医」と、延べ480名の「専門医」「認定医」が在籍しています。彼らは医師であると同時に、いわば「医師を育てるプロ」。また、シミュレーターなどを使って基本的手技を体得できるクリニカルシミュレーションルームや、研究のサポートを行う部署として臨床研究支援室を備えています。

院内にとどまらず地域に開かれた人材育成を。

「人材開発室」では、院内はもちろん、地域に開かれた人材育成を目指して、地域の医療機関からの研修、未来の医療を担う医療系大学や専門学校の学生実習など積極的な受け入れを行っています。全国の医療関係者の視察を含め、その数は毎年2,000名前後にのぼります。臨床に関する研修会や勉強会なども地域の医療機関に公開するなど、地域の医療人育成を目指した取り組みを行っています。

また、当院は「看護師特定行為研修指定研修機関」に指定され、2020年4月より特定行為研修を開始し、10区分20行為の研修を行っています。さらには、研修を管理、サポートするための「特定行為研修管理室」を新たに立ち上げ、特定行為研修専用の部屋として「Training SKAiR Crescita」を整備し、研修に集中できる環境を整えています。院内スタッフはもちろんのこと、外部医療機関のスタッフも研修を受講するなど、地域全体の医療レベル向上のため、より高いレベルの医療人育成に取り組んでいます。



HUMAN
RESOURCES
DEVELOPMENT

教育体制

当院には、院内外における教育・研修を中心となって運営・管理する「教育・研究部」という部署があり、各部門での教育にとどまらず、全職種に対して横断的に教育する仕組みをとっています。

2015年3月には、「教育研修センター」を開設し、より快適な教育・研修環境が整いました。

OJT

On the Job Training

業務を通じてスキルアップを目指す

日常的に仕事を通じて先輩や上司による指導を受け、スキルアップを目指します。また、各部署では多職種が一緒になって行う勉強会も開催されています。

Off-JT

Off the Job Training

入職年や役職に合わせた定期的な研修や講座を開催

職種別に独自の育成プログラムに沿った教育を行う一方、それらとは別に階層別研修として入職年や役職ごとに設定された研修を、該当する年に受講します。また、重要なテーマについては、毎年全職員向けに講座が開催され、技術教育には、クリニカルシミュレーションルームや各種モデルを使用したシミュレーション教育も実施しています。その他、業務に関する学会やセミナーへの参加、必要な資格取得には、病院が積極的に支援を行います。

SD

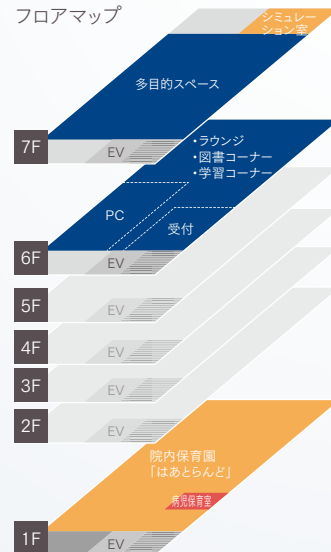
Self Development

個人主導での学習を支援

当院は地域に必要とされる人材育成のため、個人主導の学習についても支援を進めています。職員が自分の将来像や目標を意識して積極的に学習できる環境を整備することで、より充実した生活を実現できるよう支援しています。内容は、院内での英会話教室の開催、豊富なメニューから選択できる通信教育が準備されており、個人の目標に応じて、各自で講座を選択することができ、受講費用は病院が一部補助します。

高い能力と優れた人間性を
持った医療人を育てます。

教育研修センター
フロアマップ



さらなる高みを目指すため、 充実した教育・研修環境を整えています。

医療人としてより大きく成長するため、充実した教育・研修環境づくりに努めています。

2015年3月に開設した「教育研修センター」内には、学習スペースを備えた図書室、各種トレーニングが可能な多目的スペースや病室を再現したシミュレーション室を備えています。



BLSコースの様子



7F Training SKAiR apice

apice(アピス)は、イタリア語で「頂上」という意味です。この場所で、常に高みを目指し知識や技術の研鑽を続け、医療従事者としての人間性を高めていきたいとの想いを込めました。

図書室・勉強室



WEB会議BOX



PCスペース



6F Learning SKAiR salvia

salvia(サルビア)とはイタリア語で「知恵」「賢者」を意味します。図書室、勉強室として利用できます。静かな環境の下、学習することが可能です。

6Fサルビアは24時間オープン

PCコーナー／ラウンジコーナー／勉強スペース／WEB会議BOX／図書の貸し出し／統計ソフトSPSS／ポスタープリンターでの学会用ポスター印刷／Wi-Fi(病院契約の豊富な文献検索が可能)



ラウンジコーナーではくまモンがデザインされており、ゆったりとくつろげるスペースになっています。

※院内スタッフのみ利用可能

＼ スタッフに聞いた！ ／

Q&A

職員からのメッセージ

職種や立場が違っても仲が良く、
風通しの良い職場です！

Q. 済生会熊本病院のおすすめポイントを教えてください。

看護師 職員のための施設や制度が充実していることです。私がよく利用しているのは、図書室です。職員ならいつでも利用できるのも、勉強や学会発表の準備をしています。とてもキレイな空間でパソコンも自由に利用できるのも、勉強がはかどります！

臨床工学技士 職種の垣根が低く、職員同士の仲が良いことです。プライベートでも親睦会を開催するなど、交流を深めており、そこがチーム医療につながっていると思います。職種関係なく、協力して患者さん一人ひとりに最善の医療を提供しています。



診療放射線技師 おいしいご飯が安く、たくさん食べられることです(笑)。当院の職員食堂では、職員であれば誰でも日替わり定食がワンコイン以下で食べられます！他にも複数のメニューがあり、ご飯の量は自分で調整できるので、バランスの良いご飯をたくさん食べ、午後からの業務もパワフルにがんばっています！

薬剤師 福利厚生が充実していることです。自己啓発支援や、プライベートでの旅行も宿泊施設の割引などがあり、仕事以外で使えるものがたくさんあります。特に、通信教育は自分のペースで

勉強できるのでおすすめです。私は、食生活アドバイザーの通信教育を受けています。体調管理のためにも、体にいい食事について楽しく勉強しています。



Q. 業務以外で他職種と接する機会はありますか？

事務員 ソフトボール部に所属(*)しており、そこで他職種の方と一緒に練習し、親睦を深めています。他職種に仲間がいると、コミュニケーションがスムーズに進み、仕事の効率も上がります。毎年、済生会グループで大会があり、九州大会を勝ち進むと全国大会もあります。当院は、ほぼ毎年全国大会に出場しています。

管理栄養士 職員向けの英会話教室で他職種の方とお話する機会があります。レベルに合わせた教室に自由に参加でき、受講料の補助があるので、仕事が終わった後に週1回参加しています。回を重ねるごとに英語のレベルが少しずつ上がってきているのが実感できます。

Q. リフレッシュ方法を教えてください。

医師 仕事が終わった後に予防医療センターにあるフィットネスセンターで汗を流して帰っています。インストラクターの指導も受けることができるので、週1回以上のペースで通うことを目標にが

んばっています。

理学療法士 同期会です。同じ職種だけでなく、他職種の同期と仲が良く、定期的に親睦会を開催し、年に1回程度は遠出もします。同期は、同じ病院で働く仲間なので、相談もしやすく、また、同じ年に入職した者同士、良きライバルとして切磋琢磨し、がんばっています。

臨床検査技師 職員健康管理室主催のオフィス・ヨーガに参加することです。院内で開催されているので、とても参加しやすいです。心も体もリフレッシュできるので、毎回楽しみにしています。

※クラブ活動

野球やフットサル、テニス、音楽など様々なクラブがあり、職種の垣根なく交流を深め、楽しんでいます。



そのほか各職種の仕事のやりがい等については、採用サイトをご覧ください。



ハタラクエール 優良福利厚生法人 を受賞しました

「ハタラクエール」は福利厚生表彰・認証制度で、福利厚生の充実、活用に取り組む法人を表彰・認証する制度です。
当院は「福利厚生への熱意」の分野を最も高く評価され、「優良福利厚生法人(部門賞)」を受賞しました。

Aさん
一般企業から転職



私は中途入職ですが、これまで**職員食堂**のある会社がなかったので驚きました。しかも、安くて助かっています！

POINT

職員食堂の定食は一食330円。
栄養士さんが栄養バランスのとれた美味しい献立を考えています。

職員健診が充実しているだけでなく、**家族健診**まで実施してもらえて本当に有難いです！

POINT

当院の職員健診では、法で定めたものを上回る検査項目を実施しているほか、ご家族の健康も大切にしたいという想いから家族健診も格安料金で実施しています。



Bさん
他施設から転職

これまで勤務してきた施設では学会参加費しか負担して貰えませんでした。交通費や宿泊費など、**学会参加への補助額**が多くて自己研鑽に協力的だと感じました！

C先生



POINT

みなさんの「スキルアップしたい!」という向上心を応援しています。
他にも通信教育や資格取得にかかる費用を補助する制度もあります。

福利厚生

整った 働きやすい 環境

13

Recruit Book

職員の生活の向上を支援するために、福利厚生施設も充実。

こどもがいても働きやすい環境を整えるため、2010年に院内保育園「はあとランド」を開設。

その他、コンビニエンスストアや職員食堂、

焼きたてパンの店など充実した

施設環境を整えています。

また2019年に、職員が健康で安心して働ける職場を目指し、「健康宣言」を行いました。



院内保育園 はあとランド

園の名称には、はあとランドが職員の仕事と家庭の調和を図る一つの支えとなり、「安心して働ける職場環境を提供したい」という病院の想いが込められています。2014年より「病児保育」を開始、さらに2015年には新しい園舎が建設され、より一層充実した保育環境が整いました。今後も、育児をしながら働く職員を応援していけるよう、さまざまなサービスを検討していきます。



職員健康管理室

職員の健康を守るために

2013年9月1日より職員健康管理室が稼働し、職員のこころとからだの健康を守るためのサポートを行っています。職員健康管理室には、産業医、保健師、事務員、臨床心理士が専任で在駐していますので、気軽に相談できる体制が整っています。

【健康宣言】 済生会熊本病院にとって「職員」は最も大切な財産です。すべての職員が心身ともに健康で、明るく、安心して働ける職場環境を実現することを宣言します。力を合わせ、医療を通じて、地域社会に貢献します。



女性ロッカー内
パウダールーム

ユニフォームは
毎日清潔なものに
交換できます



フィットネスセンター

エアロバイク・ウォーキングマシンなど、各種トレーニングマシンを揃えた施設です。仕事終わりに汗を流すこともできます。

充実した施設環境が整っています



職員食堂

格安で食事ができる職員専用の食堂です。栄養バランスに配慮した定食(日替/週替など)や麺類、カレーなど充実しています。



ローソン 済生会熊本病院店

食料品・書籍・衛生材料などがそろったコンビニエンスストア(ローソン)があります。



ベーカリー & カフェ

店内でつくる焼きたてのパンはおすすです。コーヒーなどのドリンクとのセットメニューもあります。済生会熊本福祉センターに所属する知的障害を持つ方々が、支援スタッフと一緒にベーカリーで働いています。



Edy機能付 スタッフカードが 便利です。

職員食堂やコンビニなどの院内施設でEdyが利用できます。院内にチャージ機も設置しているため、財布を持ち歩く必要がなく便利です(各種交通系・流通系マネーも使用できます)。

病院から徒歩15分程度の位置に マンション式の寮を提供しています。

当院には、さまざまなライフ・スタイルに対応した職員寮を完備しています。研修医や医師、看護師などの単身寮、医師専用の世帯寮(2LDK)、それ以外の職種でも利用可能な世帯寮(2LDK~3LDK)があります。オートロックもついであり、セキュリティ面でも安心です。



※写真は全てウエストフィールド | 番館のものです。

職種ごとに
スクラブが色分け
されているため、
声がかかりやす
くなりました!

従来の白衣からスクラブへ、合理性・運用性が向上。

MEDICAL UNIFORM

当院では、2015年より従来の白衣スタイルからスクラブスタイルに変更しています。

スクラブは着脱が楽で動きやすく、通気性にも優れています。

また、毎日交換が可能のため、衛生的で感染対策にも優れ、

常に清潔なユニフォームで仕事ができます。

事務職員は
一部を除き
オフィスカジュアル
となっています。
ルールの範囲内で
おしゃれも
楽しめます♪



・ メディカルスタッフ ・

- ・薬剤師
- ・理学療法士
- ・診療放射線技師
- ・作業療法士
- ・臨床検査技師
- ・言語聴覚士
- ・臨床工学技士
- ・管理栄養士
- ・歯科衛生士
- ・救急救命士
- ・医療ソーシャルワーカー



・ 看護師 ・



・ 医師 ・



・ 介護福祉士 ・



・ 事務職員 ・

TEAM WORK

チーム医療を成す
責任感と協調性

チームワークを重視し、
協調性を持って仕事ができる人

FLEXIBILITY

変化に応じる
柔軟性

変化が求められる医療業界において、
柔軟な考えを持って対応できる人

AMBITIOUS

学ぶ
向上心

向上心をもって
自己啓発ができる人

CHALLENGE

質を求める
探究心

困難なこと、新しいことにも
前向きに立ち向かうことができる
チャレンジ精神旺盛な人

我々の
求める
人材像

Work Life Balance

ワークライフ バランスへの 取り組み

[長期休暇取得推進]

当院では、職員一人ひとりがいきいきと働けるよう長期休暇取得を推進しています。毎年、部署ごとに計画を立てるルールを作っており、オンとオフの切り替えができるような環境づくりに努めています。

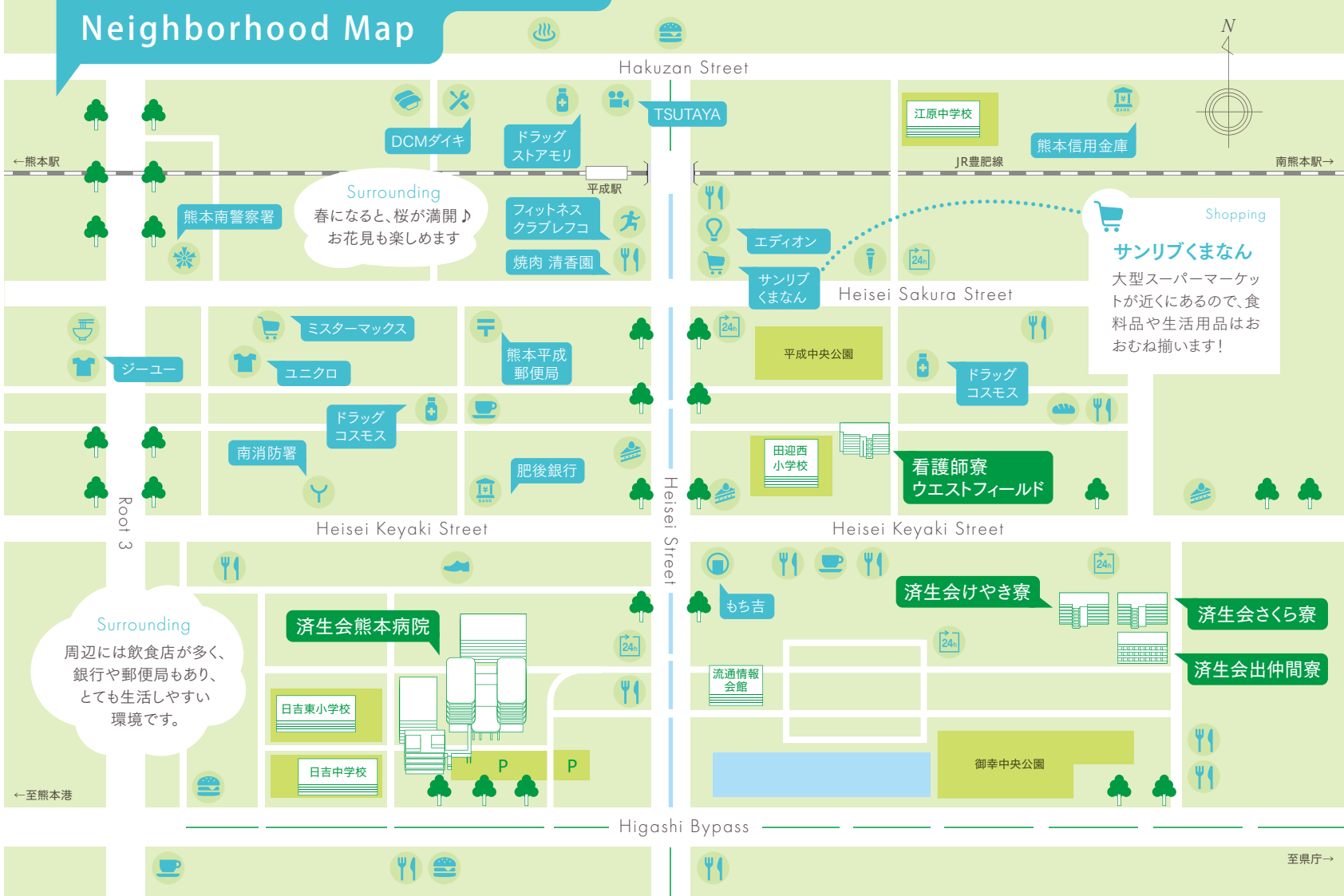
[ライフプランのサポート]

私たちは、年齢とともにさまざまなライフイベントを経験します。より充実したライフを送ることができるよう、金融機関や保険会社主催のライフプランセミナーを院内で実施したり、育児休業中の職員向けに「まみーずCafe」という復職前イベントを企画し、ママ同士で仕事や子育てに関する不安や悩みを話せる機会を提供しています。

[健康イベントの実施]

部署対抗で1ヶ月間の歩数を競うイベントや、健康レシピを紹介しあうコンテスト、ヨガ教室の実施(月1回)、体重買取りキャンペーンなど、バラエティにとんだ健康イベントを開催しています。病院職員として職業生活を送るうえで最も大切なことは、「健康」です。これらの企画は、職員がより健康で活動的に仕事に取り組めるようにとの想いで考えられています。

Saiseikai Kumamoto Hospital Neighborhood Map



済生会熊本病院のことを
もっと知りたい!
もっと聞きたい!

ホームページにもぜひアクセスを。当院がより詳しくわかる情報が盛りだくさんです。採用説明会や病院見学の最新情報も随時アップしていきます。また、各種説明会、見学などの受付もホームページよりご確認ください。

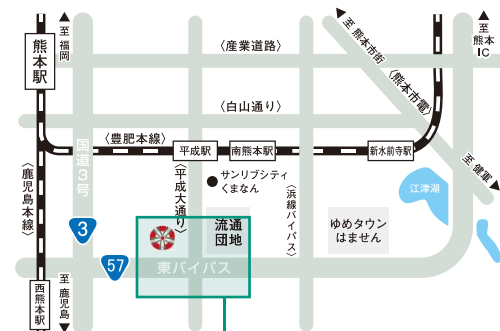


<https://sk-kumamoto.jp/recruit/>



社会福祉法人
恩賜財団 **済生会熊本病院**
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL

〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
TEL.096-351-8000 FAX.096-326-3045



[JR熊本駅から]

北九州予備校前バスのりばからバスで約20分
「済生会病院前」下車/タクシーで約15分

[JR西熊本駅から]

タクシーで約8分

[JR平成駅から]

タクシーで約10分

[阿蘇くまもと空港から]

車で約40分/
リムジンバスで交通センターまで約50分

[熊本交通センターから]

交通センター3番のりばからバスで約30分
「済生会病院前」下車/タクシーで約20分